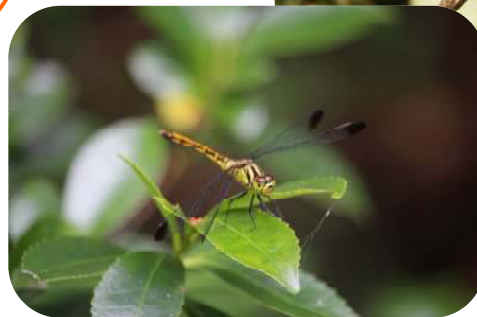
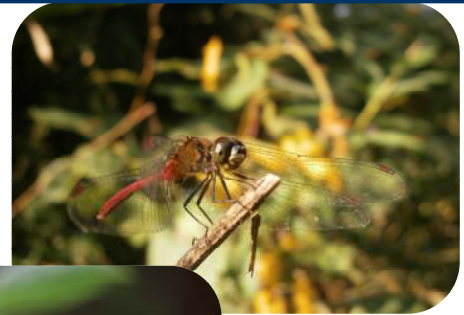


ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Vol.30 Summer 2014

顔に眉のような紋がみられる
赤トンボの仲間です。赤トンボ
は秋の訪れを感じさせます
ね。



写真：マユタテアカネ（上：オス、下：メス）

特集 海上の森はいま

海上の森大学が開講・講義開始！

みんなのこえ 聞き耳タカ目の目調査 上半期調査結果

海上の森散歩 森の入口駐車場～里山サテライト



この人！

<海上の森に育てられた者として>

海上の森の会・サポーター 石川 明博さん

ライブラリー新着図書を紹介します！ 小海途 銀次郎

日本 鳥の巣図鑑 小海途銀次郎コレクション 和田 岳 著

著者の小海途銀次郎氏が約40年間にわたり採集した「鳥の巣」を写真と解説や採集記で図鑑化した本です。日本の鳥類のうち160種もの鳥の巣を掲載しています。特に採集記は小海途氏の視点で各鳥の営巣や育雛、抱卵などの様子が書かれており、読み物としても面白く鳥の繁殖生態について知ることが出来ます。

野鳥の保護を考えるうえで野鳥の生態を知ることは非常に重要なことです。本書は「鳥の巣」を通して鳥の繁殖生態の理解に繋がる一冊ではないでしょうか。



特集 海上の森はいま あいち海上の森大学が開講し、講義を開始しました！

平成26年7月12日(土)、愛知県立大学多目的ホールで、あいち海上の森大学の開校式が県及び市民関係者など約百名の参加を得て、盛大に行われました。

本年度は、森林再生・環境教育コースを開設し、30名が受講します。受講生は現役の大学生から既に自然観察会を主宰して地域で活動している方など幅広い層に亘っています。森林の再生や環境教育に係る幅広い分野の多彩な講師陣により実践につながる講座が開催されます。



開校式の後、「里山を未来へ ～風景に秘められた知恵と豊かさ～」をテーマに、NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサーの小野泰洋氏に記念講演をお願いしました。素晴らしい映像とともに、全国各地の環境の豊かさを維持する知恵や価値に満ちた里山についてご講演されました。



「確かな未来は、懐かしい風景の中にある」という言葉とともに、「コウノトリ育む農法」についての紹介や、自然体験が豊富な子どもは道徳観・正義感が身につくことや、体力・運動能力や環境問題への関心の向上、好奇心・自己主張や集中力・学習意欲の向上へつながることが話されました。最後に、里山は人がいるからこそ維持でき、次の世代へ、子どもたちへ引き継いでいくことが大切であると締め括られました。

これから森林、里山、環境教育について学んでいく大学の開校式に相応しく、受講生の方の学ぶ気持ちも高まったことでしょう。

入校生の皆さんが、無事修了され、御活躍されることを期待します。

海上の森散歩 森の入口駐車場～里山サテライト

森の入口駐車場から里山サテライトへは森に沿った明るい道、シオヤトンボやベニシジミなど色々なトンボやチョウの仲間が見られる四つ沢、少し薄暗い森内を楽しむことができます。森内を抜けると海上の里に着きます。里では田畑などの里の暮らしの風景や雰囲気を楽しむことができます。特に里にある古民家を移築した里山サテライトからの眺めは古き良き里山暮らしを追想させるのではないのでしょうか。また、サテライトは休憩所としても使え、多くの来訪者の方が昼食などに利用されています。

所要時間: 森の入り口駐車場～里山サテライト : 徒歩 約30分



みんなのこえ 聞き耳タカ目の目調査結果

今回は、今年1月から始めました「聞き耳・タカ目の目調査」の結果を簡単に報告します。6月までに約35名の方から74種の動植物等の記述をいただきました。主な月の概要は、次のとおりです。

1月は冬らしく霜柱の記述がありました。4月は春らしく植物に関する記述が多く、5月は夏鳥など19種類の野鳥の記述がありました。6月は初夏らしく昆虫の記述が多くありました。今後とも、この調査にご協力をお願いします。



<海上の森に育てられた者として>

海上の森の会 サポーター 石川 明博さん

私が初めて海上を訪れたのは、今から50年以上前の小学校の頃、現在のどのあたりになるかわかりませんが、屋戸奥の堰堤の流れ込みで婚姻色が美しいオイカワを追いかけていたのが初めだったように記憶しています。そのころは樹木の樹高もまだ低く、周りも広く見渡され、近隣の尾根はいわゆる痩せ尾根で砂礫がむき出しで、崩壊した岸ではよく木のソリで滑って遊んだものです。その後も、中学・高校時代は友人知人と猿投山の中腹あたりでよくキャンプをし、一晩中たわいもない話で語り明かしていました。

やがて結婚し二人の子どもを授かり、子どもたちの小学校頃は夏休みの課題として海上の森の地図を作製し、各所にトンボの小道、大きなソヨゴにお化けソヨゴ、丘の上のシイの木にブロッコリーの木などと子供たちが名付けて書き込んでいたのを思い出します。その後、仕事や生活に追われてしばらく海上の森を訪れる機会が少なく

なりましたが、昨年の3月に職を退きこれからの日々をどのように過ごそうかと考え、いろいろ模索するうちに元々園芸や畑作を行い植物が好きなこともあり、野草や樹木を通して自然に関する知識を深め、その素晴らしさを身近な人に伝えながら海上の森の会、あいち海上の森センターサポーター、シデコブシの会などの活動を通して、海上の森や近隣の自然にかかわっていかれたらと思っています。

石川さんの力作。海上の森で拾った枝や木の実などで作られています。現在、センターにて展示中。



プロフィール 瀬戸市在住。海上の森の会（主に自然環境調査グループ）、シデコブシの会、東海自然大学などに所属し、様々な講座を受講しながら、大好きな海上の森を中心に植物を勉強中。



センター職員随想リレー

かたりべのひと言

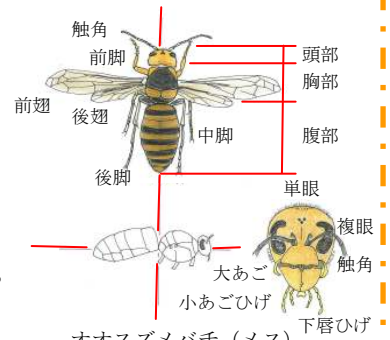
生きている森

今年度よりあいち海上の森センターで勤務させていただいております。海上の森に来て早いもので約5ヶ月が経ちました。この間に森は私に様々な顔を見せてくれます。春にはシデコブシなどの海上の森ならではの花やその他多種多様な花が咲き始め、と思えば木々の新緑が日に日に増して、昆虫達が活発に動き回り、いつの間にか森は緑でいっぱいになり、ウグイス、キビタキ、ヤブサメ、ホトトギス、オオルリなどの鳥たちのさえずりが響き、一方里では田んぼに水が入って田園風景が広がり・・・と海上の森へ入る度に目まぐるしく変わる情景に驚かされます。このような日々変化していく森を見ていると、森そのものが大きな生き物のように見えて、森も生きているんだな、と実感できます。生きている森がこれからどんな表情をするのか、皆さんも体感しにきてはどうでしょうか。(Y・K)

森のなかま

【オオスズメバチ】 細腰並目 有剣類 スズメバチ科

ハチと聞いただけで刺されると思う人は、多いと思います。確かにハチによる被害は、毎年ニュースになります。特にオオスズメバチは、体長が27~40mmと大きく、注意を必要とする昆虫です。こうした刺すハチは、集団で生活するハチ類で、巣を襲う鳥類や哺乳類から巣を守るために刺すように発達したといわれています。ですから、スズメバチが人間を刺しに来るときは、巣を守るためとエサやエサ場を守る時に限られています。スズメバチを見つけたら、そっとその場を離れば危険はないといえます。



こわいのは気付かずに巣に近づいてしまったときや「あっ、カブトムシだ」と手を出したら、そこにスズメバチがいたときなどです。夏は、こうした突然の遭遇が多くなる季節といえます。スズメバチも森のなかまです。少しだけ気を付けて山歩きを楽しんでください。

参考文献

- ・NHK人間講座 謎解き昆虫記 矢島稔
- ・あっ！ハチがいる 晶文出版 千葉県立中央博物館監修
- ・アリ・ハチのなかま 新日本出版 海野和男
- ・虫の顔 八坂書房 石井誠著

(SKI 62)

人と自然の共生国際フォーラム

The 8th International Forum on Interrelationship between Nature and Human Beings

を開催します!

平成 19 年度から毎年開催している「人と自然の共生国際フォーラム」も第 8 回を迎えます。今年、『愛知の森林・里山から始める「持続可能な社会に向けた人づくり (ESD)」をテーマに、10月4日(土)と10月25日(土)の二日間にわたり開催します。

特別講演の講師に、漁師による植林活動で有名な畠山重篤氏をお招きし、森と海との関わりについて講演していただくほか、持続可能な社会を支える担い手づくりの活動を進めてきた 7 団体の活動発表や、グループディスカッション、パネルディスカッション、市民の EXPO 等を開催し、参加者みんなで人と自然の共生について考えます。

入場は無料ですが、グループディスカッションと交流会(参加費 3,000 円)は定員 40 名で事前申込みが必要です。参加をご希望される方は、チラシまたはホームページの申込みフォームにより、郵送か FAX、または E-mail にてあいち海上の森センター内の事務局までお申込みください。

皆様の参加をお待ちしています。

10月4日(土)

時間：午前 10 時から午後 3 時 40 分まで
場所：バルティセと (5 階アリーナ)
瀬戸市栄町 45

内容:
10:00～活動助成事業発表会
(アクション・プレゼンテーション)
13:40～意見交換会
(グループディスカッション)

10月25日(土)

時間：午前 10 時から午後 4 時 45 分まで
(交流会除く)
場所：地球市民交流センター
(愛・地球博記念公園内)
長久手市茨ヶ狭間乙 1533-1

内容:
10:00～市民の EXPO・活動紹介
13:15～特別講演(畠山重篤氏)
14:40～パネルディスカッション
17:00～交流会

展示の目玉 ～木工作品～

昨年度末にセンター主催で行った木工芸入門講座が、今年度より海上の森の会の自主事業として継続されました。講師は引き続き森グループの布目勝さんで、年間 31 回のみっちりとしたスケジュールで行われています。7 月までに 10 回を過ぎ、当初からの生徒さんは 2 作目 3 作目とさらに難しい課題に挑戦されています。海上の森センターではその中からいくつかの作品をお借りして展示させていただきます。センターにお越しの際は是非ご覧になっていただき、興味のある方は、ま

だ若干名定員に余裕がありますので、是非ご参加ください。お問い合わせは、センターもしくは海上の森の会まで。



海上の森体験学習プログラム 森の樂技・森のようちえん

秋の森でアーティストになろう

実施日：11月30日 受付期間：9月30日～11月16日
対象：森の学校は小学生以上、小学生は保護者同伴、森のようちえんは幼児(3歳～6歳)が対象で、保護者同伴が必要です。

《応募方法》官製はがき、FAX または E-mail に ①住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号を記入し(応募者の住所などが異なる場合は全員分)、申込期限(当日消印有効)までに下記の申込先へお申し込みください。申込多数の場合は、抽選により決定し、結果を通知いたします。

《申込・問い合わせ先》あいち海上の森センター
〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1
電話：0561-86-0606 / FAX :0561-85-1841
E-mail : kaisho@pref.aichi.lg.jp

お知らせ

熱中症にご注意を!

飲み物を持参し、こまめな給水をお願いします。(※森内に自販機はありません)

研修室・工作室のご利用について

ご希望の方は当センターホームページから利用許可申請書をダウンロードして申請してください。

ご利用料金	午前	午後
研修室	3000 円	4100 円
工作室	5000 円	6600 円

スタンプラリー実施中

センター本館、遊歩施設(窯の歴史館・繭玉広場・物見の丘)、里山サテライト、愛知環状鉄道山口駅・リニモ八草駅にスタンプを設置しています。全スタンプを集めた方には粗品を差し上げます!

編集後記

まだまだ暑い日々が続いていますが、海上の森では秋の草花や虫たちが少しずつ顔を見せ始め、秋への移り変わりを感じるようになりました。

編集・発行 あいち海上の森センター(ムーアカデミー)

発行日 平成 26 年 9 月 5 日

〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1

TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841

E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL: <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>



ホームページQRコード